

**衛生研究所再整備基本・実施設計業務委託
公募型プロポーザル審査委員会 審査講評**

1 審査経過

本事業の基本・実施設計業務委託に係る公募型プロポーザルでは、関係する専門分野を代表する6名の審査委員による審査委員会が設置され、募集要領の策定から最終審査に至るまで、慎重かつ厳正な審査を行いました。

(1) 第1回審査委員会

日程：令和7年10月16日（木）

場所：衛生研究所（福島県福島市）

議事：委員長・副委員長を選出した後、審査スケジュール、募集要領、審査の進め方等について審議。

(2) 第2回審査委員会（一次審査）

日程：令和8年1月19日（月）

場所：自治会館（福島県福島市）

議事：失格条項等の該当の有無について確認した後、1者の提案書について審議し、1者をヒアリング要請者として選定。

(3) 第3回審査委員会（二次審査）

日程：令和8年2月9日（月）

場所：杉妻会館（福島県福島市）

議事：提案者のヒアリング（プレゼンテーション及び質疑・応答）後、提案を審議し、全会一致で委託候補者を選定。

2 提案課題

- (1) 検査機能の充実と安全で機能的な職場環境の整備に関する提案
- (2) 災害に強く、健康危機発生への備えを有する施設に関する提案
- (3) 社会環境の変化に柔軟に対応し、継続的・長期的な業務運営が可能な施設に関する提案
- (4) 人と環境にやさしく、ライフサイクルコストの縮減に配慮した施設に関する提案
- (5) その他の提案

3 審査結果

委託候補者：株式会社大建設計東北事務所

4 審査講評

- (1) 総評

本プロポーザルは、応募者が1者であったが、提出された提案書およびヒアリングを通じた審査の結果、本事業の受託者として十分な能力と実績を有していると判断し、全会一致で選定した。

選定された応募者の提案は、類似施設の豊富な設計実績に裏打ちされた、極めて堅実かつ実現性の高いものであった。また、管理技術者が本プロジェクトの特性や課題を深く理解し、意匠・構造・設備の各分野を統括して責任ある回答を行っていた姿勢は、本審査委員会において高く評価された。

(2) 評価された点

配置計画においては、基本計画を尊重しつつ、災害時のアクセスや除雪への配慮など、地域の特性を読み解いた合理的な動線計画がなされていた。平面計画では、センターコア方式として「人、もの、設備」の動線を最小化し、外周部に将来の変更に対応しやすい諸室を配する構成となっており、機能性・効率性と将来への可変性が両立されている点が評価された。

また、構造計画における免震構造の採用や、発生土量の最小化、造成コスト縮減、さらには水害リスクを考慮した上での地盤の嵩上げは、災害拠点としての安全性・継続性を担保する上で説得力のある提案であった。

さらに、閉鎖的になりがちな研究所において、情報発信のための「ロビー・展示スペース」や、職員の分野を超えた連携・協働の場として、また執務環境向上やリフレッシュを目的とした「コラボスペース」を提案した点は意欲的な試みとして評価された。

(3) 今後の設計への期待・要望

設計業務の遂行にあたっては、以下の点に留意し、発注者及び施設利用者と十分な協議を行うことを期待する。

利用者との対話と協働

設計においては、各部署の職員と綿密なコミュニケーションを図り、現場の細かな要望や運用実態を丁寧に汲み上げ、提案者主導で計画が進むことのないよう実情・実態に即した施設計画とすることを期待する。

コラボスペース等の具体化

提案の特色である「コラボスペース」については、セキュリティラインの設定、更衣や汚染管理の動線、さらには見学者への対応など、運用面での課題が残されている。単なる余剰空間とならないよう、実質的かつ有効に機能する空間として練り上げることを期待する。

コストと環境性能の精査

免震ピットを利用した地中熱利用（クールヒートチューブ等）などの環境提案につい

では、イニシャルコストとランニングコストのバランスを慎重に検証し、費用対効果の観点から真に有効な仕様を選定されることを期待する。

将来への柔軟性

将来的な検査体制の変化や増築の可能性を見据え、構造・設備計画における十分な拡張性と更新性の確保を期待する。

5 まとめ

本審査委員会は、厳正な審査の結果、応募者を委託候補者として選定した。同社の提案は、高度な専門知識と技術力に基づく信頼性の高いものであり、福島県の衛生研究所が将来にわたり県民の安全・安心を支える拠点となることが期待できるものである。

今後は、本委員会で付された要望等を真摯に受け止め、県及び関係者との対話を重ねることで、提案内容をより高次元の設計へと昇華させ、関係者の期待に応える施設が完成することを切に願うものである。

令和8年3月26日

衛生研究所再整備基本・実施設計業務委託公募型プロポーザル審査委員会

委員長：石井 敏 （東北工業大学建築学部建築学科教授）
副委員長：速水 清孝 （日本大学工学部建築学科教授）
委員：後藤 幸永 （一般社団法人福島県薬剤師会試験検査課長）
委員：加藤 敏史 （福島県土木部営繕課長）
委員：風間 秀元 （福島県保健福祉部薬務課長）
委員：伊藤 理 （福島県衛生研究所長）

※ 役職名は、第3回審査委員会（二次審査）時点のものです。